

下津 優太 ● 1990年生まれ。福岡県北九州市出身。佐賀大学入学後、映像制作を始める。演出・脚本・撮影・編集まで、幅広く活動しており、現在は、佐賀県のTV-CMを中心に手がけている。

中村 周一 ● 1982年生まれ。福岡県福津市出身。九州産業大学芸術学部デザイン学科卒業。東京一福岡の映像・CM業界が主戦場。映像のプランニングから絵コンテ作成、演出、プロデュース、編集、AE合成・モーショングラフィックスまでこなし、映画では脚本も担当。

橋 剛史 ● 1987年生まれ。福岡県行橋市出身。東京フィルムセンター映画・俳優専門学校を卒業後、地元を拠点に活動を開始。短編映画『心臓の弱い男』が米アカデミー賞公認映画祭ショートショートフィルムフェスティバル&アジアに入選した他、国内外15カ所の映画祭で上映される。



九州の豊かな人とロケーションを使って、「Made in Kyushu」の映画を作りたい!!



～九州映像創作ネットワーク～

Pick up Artist

2010年映像制作の現場や、福岡インディペンデント映画祭で出会った3人。繋がりを大事にしたいとの思いが重なった。福岡だけでなく九州とその周辺地域で活動する映像クリエイターが集えるネットワークをとの思いを込めて、CHINZEI(鎮西と名付け、2013年10月にグループを結成。様々なスキルを持った個人が繋がっていく場を広げていきたいと話す。映像監督の3人を中心に若手クリエイターたちの拠点として稼働中！)

反響する
クリエイターの熱いおもい

福岡フィルムコミッションからのオファーを受けて、フィリピン映画監督率いる映画製作チームに、福岡でのロケ地のセッティングや、出演者のオーディションなどのコーディネーターとして参加しました。SNSやメールで打合せをし、最初は、相手が何を求めているのか理解するのに時間がかかり、言葉の壁にぶつかるところもありました。しかし、大変だったのは彼らが現地入りしてからです。4日ほどの撮影に同行しましたが、突然ゲリラ撮影が始めたり、困惑させられることも多々。でも、僕らも制作者の気持ちが変わるし、だんだんやらせてあげたくなくなっ

て、最後は無謀な撮影も応援してしまいました笑。

撮影現場では、スモークを表現するために、装置を使わずに線香を焚いたり、代用品を使った制作費をかけない工夫をしていました。アイデア次第で高い機材を使わなくてもいい映像を作ることができると学ぶこともありました。線香の煙でスタッフが喉を傷めて大変でしたけどね(笑)。楽しい雰囲気現場は進んで行き、あ〜こんなふうにして制作したいんだなあと思いました。今後さらに、アジア各国の人たちと繋がって映像の可能性を追求していきたいです。いつも生活のふとした瞬間に、これを映像にしたら面白そう〜って思っ



★福岡ロケをコーディネート(2015)

アジアフォーカス・福岡国際映画祭2015 公式招待作品

『インビジブル』フィリピン・日本/2015

まもなく作品公開!【9/20(日)・23(水・祝)・25(金)】→関連記事P4〜6

公式HPで作品を観ることができます。

<http://www.chinzei.jp/>

札幌国際短編映画祭 入選!!



『そらダン』

日本/2014

★北九州市の事業、北九州芸術劇場 × スターフライヤー
なかなか普段は入れない滑走路や機内での撮影は貴重な体験。



『はんたま』

日本/2014

★九州ショートフィルムプロジェクト
別府に滞在し、2日間で撮影と上映をやってしまうプロジェクト。
九州各地で実施予定!



『コマプリ』

日本・台湾/2015

★台湾企業のCM制作
いろいろな業界の方と出会い、紹介を受けて、いろいろな映像制作の仕事ができています。